

大腸がんってどんな病気？

大腸がんの罹患数

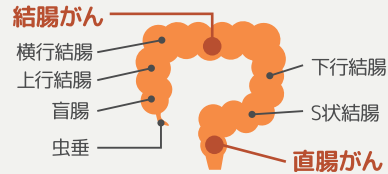
年齢別にみると、大腸がんの罹患（新たに発症した人）数は、40代から増え始めます。50代後半になると、男性の罹患数が女性を大きく上回っています。

国立がん研究センター
がん情報サービス「がん登録・統計」
2017年



日本で一番
かかる人が多い
大腸がん！

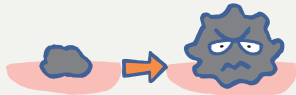
ひと口に大腸がんといっても、発生部位によって、結腸がんと直腸がんに分けられます。診断法、治療法、手術後の生活の仕方が異なり、日本人はS状結腸、直腸にできやすい傾向があります。



大腸がんの発生経路は2つ

ポリープを早期発見し治療することが、大腸がん予防につながる！

① 正常な粘膜にがんが発生

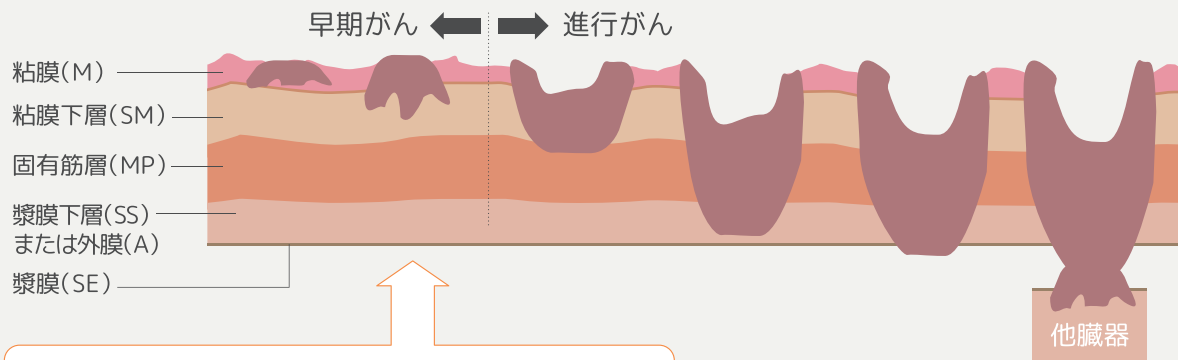


② ポリープ（前がん病変）ができて、徐々に悪性度が高くなりがん化する（がん化しないポリープもある）



大腸がんの原因は約9割がポリープ

大腸がんの進行度（ポリープによるものの場合）



5年生存率 95%

粘膜下層にとどまっている早期がんの状態で見つかれば、完治の可能性が高まります。

ただし、便潜血検査はポリープに関しては感度が低くなります。一方、内視鏡検査は高確率でポリープを発見できます。

5年生存率は約19%に激減

肝臓や肺、腹膜など離れた臓器への転移がある場合。下記のような症状が出ます。

大腸がんが進行した場合にみられる主な症状

- 血便（便に血が混じる）
- 下血（腸からの出血により、赤または黒い便が出る。便の表面に血が付着する）
- 下痢と便秘を繰り返す
- 便が細い ● いつも、便が残った感じになる
- おなかが張る ● 腹痛 ● 貧血 ● 体重減少

女性の死亡数1位の理由

便潜血検査結果の「異常あり」や、血便などの自覚症状を、「経産婦によくある痔だろう」「検査が恥ずかしい」と放置する女性が多いようです。そのため、がんと診断されたときには手遅れになることが少なくありません。

